

1 日常の学習状況・課題について

- (1) よく話を聞き、理科的な事物・現象に興味をもって取り組んでいる。
- (2) 集中力が続かず、近くの席の人と関係のない話をしてしまったたり、話を聞くことができなかったりする生徒が一定数いる。
- (3) 思考力がまだ十分に育まれていない。

2 改善の計画

- (1) 学習内容を日常生活と結び付けたり、画像や動画を提示したりして興味・関心を引き、課題を自分事として捉えさせる。また、発問がわかりづらかったり、考えるための材料が少なかったりしないよう、発問の仕方を吟味する。
- (2) 生徒たちの「考える時間」を大切にする。教員がすぐに答えを言ったり、最終的に教員の言葉でまとめられているような印象を与えないようにしたりする。生徒が自ら考え、答えを導き出そうとする態度を育む。
- (3) 考察やまとめの説明を生徒同士で自分の言葉でさせる。その際、根拠や理由となる事実を必ず明確にさせる。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) 学習内容を隣の人と説明し合う活動を多く取り入れ、根拠や結論を明示した文脈を意識させる。
- (2) 自然の事物・現象に触れる機会を多く取り入れ、自然や自己を愛する心情を育む。

4 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 思考力を問う問題を含む小テストを行う。